

主要參考資料

- P 1… (脚注2) 電気の低圧分野のスイッチング状況
- P 2… (脚注3) 電源保有の構造
- P 3… (脚注5) 都道府県別小売電気事業者数 (低圧)
- P 4… (脚注6) 地域別の市場シェア (販売電力量ベース)
- P 5… (脚注8) 新電力の料金メニューの動向 (低圧電灯)
- P 6… (脚注9) 電源構成及びCO₂排出係数の開示状況
- P 7… (脚注10) 代理店等の公表、託送供給料金相当支払金額の明示について
- P 8… (脚注17) 消費者への情報提供 (電気)
- P 9… (脚注19) JEPXの取引状況 (取引量・取引価格)
- P 10… (脚注22) 指定旧供給区域における累積スイッチング件数 (家庭用)
- P 11… (脚注23) 経過措置料金規制に係る指定解除について
- P 12… (脚注26) 自由化後の小売事業者の登録状況
- P 13… (脚注26) 新規参入者のシェアの推移
- P 14… (脚注27) LNG基地利用の促進について
- P 15… (脚注31) 標準メニュー及び平均的な月額料金例の公表状況
- P 16… (脚注33) 託送供給料金相当支払金額等の明記状況
- P 17… (脚注34) 代理店等に関する情報の公表状況
- P 18… (脚注35) LPガス料金の公表状況調査の結果
- P 19… (脚注36) 他社スイッチングの状況
- P 20… (脚注39) 消費者への情報提供 (ガス)

電気の低圧分野のスイッチング状況（2018年1月時点）

※第45回公共料金等専門調査会（平成30年4月26日） 電力・ガス取引監視等委員会提出資料P13より

- 2018年1月時点での新電力への契約先の切替え（スイッチング）実績は約9.1%（約568万件）、みなし小売電気事業者の自社内の契約の切替件数（規制→自由）は約5.7%（約358万件）であり、合わせて約14.8%（約926万件）。
- スwitching率を地域別に見ると、東電PG管内（12.8%）が最も高く、次いで関電管内（12.0%）となっている。一方、中国管内（2.5%）や北陸管内（2.7%）では低調な推移となっている。

※ 広域機関のスイッチングシステムを通じた新電力への切替申込件数（2018年3月末時点）は約710万件（全体の約11.4%）。

スイッチング（みなし→新電力）件数

管内	他社切替実績 【単位：万件】	率 ※ 【単位：%】
北海道	25.45	9.2
東北	21.60	4.0
東京PG	292.8	12.8
中部	51.23	6.7
北陸	3.36	2.7
関西	120.61	12.0
中国	8.65	2.5
四国	7.46	3.8
九州	36.83	5.9
沖縄	0.00	0.0
全国	568.0	9.1

自社内契約切替（みなし規制→みなし自由）件数

	自社内切替実績 【単位：万件】	率 ※ 【単位：%】
北海道	1.8	0.7
東北	6.0	1.1
東京PG	87.0	3.8
中部	121.3	15.9
北陸	2.7	2.2
関西	63.8	6.3
中国	43.5	12.4
四国	11.0	5.7
九州	20.5	3.3
沖縄	0.2	0.2
全国	358.0	5.7

出所：電力・ガス取引監視等委員会 電力取引報（平成30年1月実績）

※ 平成28年3月の一般家庭等の通常の契約口数（約6,253万件）を用いて試算。なお、平成28年3月の低圧の総契約口数は約8,600万件だが、旧選択約款や公衆街路等の契約などは、実態としてスイッチングが起きることが想定されにくく、母数から除外。また、同一需要家による供給事業者の変更や、旧一般電気事業者の規制料金・自由料金メニュー間での契約種変更は、複数回行われた場合、その都度、スイッチングとしてカウントされることに留意。

【参考資料1-2】 電源保有の構造

第16回制度設計専門会合(平成29年3月31日)
電力市場における競争状況の評価より抜粋

※第3回競争的な電力・ガス市場研究会(平成29年12月26日) 卸市場に関する基礎資料集及び「卸電力市場(発電市場)に関する競争促進上の課題について」より。

- 我が国の電源は、**みなし小売電気事業者と旧卸電気事業者(電源開発等)**が出力ベースで**83%**を所有している。

